

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第4学年 「社会（東京書籍）」

63時間（70%）

※ 令和2年度の第4学年では、第3学年で供給されている「新編 新しい社会3・4年下」と補助教材を併用して指導します。

週	内容	小単元名	主な学習内容	時間数	留意点	
1	(1) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	1 わたしたちの県			※空欄は通常の年間指導計画の時間数で対応。	
		オリエンテーション		1	・「日本地図をひろげて」を中心に1時間で扱う。	
		日本地図をひろげて				
		1. 県の広がり	日本の中の兵庫県	1	・学習問題をつくり、学習の進め方を確認する。	
			学習の進め方			
			兵庫県の地形	1		
2			土地利用の様子	1		
			兵庫県の市や町	1		
			交通の広がり	1		
3			兵庫県の主な産業	1		
		県の特徴をまとめる	1	・学習問題について、調べ整理させたことを基に、白地図等にまとめさせる課題を出し、確認する。		
		2 住みよいくらしをつくる				
	(2) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	オリエンテーション		1		
		1. 水はどこから	生活の中での水の使われ方	1	・現場学習が実施できない場合は、「浄水場等」の写真や動画等を活用する。（具体的な様子を捉える工夫）	
4			水のじゅんかんについて考える	1		
			水のふるさと	1		
			ダムの働き	1		
5			きれいな水をつくるために	2		
			安全でおいしい水をつくるために	1		
6			大切な水をくり返し使うくふう	1		
			水の流れをまとめる	1		
			旭川の源流をたずねて	2		・節水や水を汚さないために、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりする活動を必ず扱う。
	きれいな川をつなげるために					
7	(2) ア - (イ) (イ), イ - (イ)	2. ごみのしよりと 利用	ごみを分別する	1	・現場学習が実施できない場合は、「ごみ処理場等」の写真や動画等を活用する。（具体的な様子を捉える工夫）	
			ごみ置き場の様子	1		
			ごみのゆくえ	1		
8			もえるごみのゆくえ	2		
			もやした後のくふう	1		
9			ごみが生まれ変わる	1		
			ごみしよりがかかえる問題	1		
10			グループでまとめる	1		・学習問題について、調べ、整理させたことを基に、白地図や図表等にまとめさせる課題を出し、確認する。
			ごみしよりのくふう			
			自分にできることを考える	1		・ごみを減らすために、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりする活動を必ず扱う。
		3 自然災害からくらしを守る				
	(3) ア - (ア) (イ), イ - (ア)	オリエンテーション		1		
		1. 地震からくらしを 守る	地震が起きたら	1	・地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりする活動を必ず扱う。	
			地震とわたしたちのくらし	1		
			家庭でそなえているもの	1		
			学校や通学路でそなえているもの	1		
12			市の取り組み	1		
			市と住民の協力	1		
			住民どうしの協力	1		
13			地震からくらしを守る取り組みをまとめる	1		
			ひなん所シミュレーション			
			8時間			

		4 きょう土の伝統・文化と先人たち			
	(4)ア - (7) (ウ), イ - (7)	古くから残るもの (オリエンテーション)		1	
14	(4)ア - (4) (ウ), イ - (イ)	1. 残したいもの 伝えたいもの	県内の伝統・文化	1	・県内の文化財や年中行事については、地域の発展等の人々の願いが込められていることを中心に扱う。 ・作業的な学習については、事前に家庭で扱うなどし、思考を深める学習に重点を置く。
			古くから残る県内の建物	1	
			古くから伝わる県内の芸のう	1	
			昔から続く県内の祭り	1	
			古くから残るものについて年表にまとめる	1	
15		6時間	身近な地いきを見直そう	1	・地域の伝統や文化の保存や継承に関わって、自分たちにできることを考えたり、選択・判断したりする活動を必ず扱う。
16		2. 谷に囲まれた台地に水を引く	石でできた橋	1	
			人々の願い	1	
			深い谷に囲まれた地形	1	
			用水路としての通潤橋	1	
	水を送るくふう		1		
	石の管と橋の形のくふう		1		
	石工たちのくふう		1		
17	8時間	土地利用の変化ときょう土の人々	1	・学習問題について、調べ、整理させたことを基に、年表等にまとめさせる課題を出し、確認する。	
	紙しばいにまとめる	1			
		5 特色ある地いきと人々のくらし			
	(5)ア - (7) (イ), イ - (7)	オリエンテーション		1	
18	(5)ア - (7) (イ), イ - (7)	1. 焼き物をつくるまち・丹波篠山市	焼き物のふるさと	1	・学習問題について、ノートやワークシートに調べ、整理させたことを基に、まとめを文章で記述させる課題を出し、確認する。
			原料の土と焼きがま	1	
			丹波立杭焼をつくる	1	
			丹波立杭焼とまちづくり	1	
	4時間	ノートにまとめる	1		
19	(5)ア - (7) (イ), イ - (7)	2. 世界とつながるわたしたちの県	ほかの地いきや国とのつながり	1	・家庭学習の時間を活用して、神戸市と世界とのつながりの取り組みを関連付けながら、ワークシート等にまとめさせる。
			港がある神戸	1	
			兵庫県と世界とのつながり	1	
20	3時間	わたしたちの兵庫県	1		
21	(5)ア - (7) (イ), イ - (7)	3. コウノトリを育てるまち・豊岡市 (※選択)	コウノトリのまち	1	・学習問題について、ノートやワークシートに調べ、整理させたことを基に、まとめを文章で記述させる課題を出し、確認する。
			よみがえったコウノトリ	1	
			コウノトリを守り育てる	1	
			コウノトリを生かす	1	
			ノートにまとめる	1	
		4時間			
		3. 城を守るまち・姫路市 (※選択)	城のまち	1	・学習問題について、ノートやワークシートに調べ、整理させたことを基に、まとめを文章で記述させる課題を出し、確認する。
			姫路城を守る取り組み	1	
			姫路城とまちづくり	1	
			世界の宝 姫路城	1	
	ノートにまとめる		1		
	1時間	特色ある地いきのよさを伝えよう	1		

※時間数の精選方法 (例)

○授業の工夫

- ①多くの学習活動を設定するのではなく、単元の課題 (学習問題) の解決や本時のめあての達成につながる学習活動を設定するなど精選を図る。
- ②既習事項を生かして、調べまとめる等、課題を解決するための方法を工夫する。
- ③新聞や紙芝居等でまとめる作業に時間を割くのではなく、学習問題について調べてきたことをノートやワークシート等に整理させたり、文章で記述させたりする活動に重点を置く等、単元末のまとめ方を工夫する。
- ⑤学習したことを家庭での時間を活用しながらまとめさせることで時数の確保に努め、資料等を用いて説明したり、話し合ったりする活動を適切に位置付けるようにする。
- ⑥文章で記述する活動は家庭学習と連携することで時数を精選し、資料等を用いて説明したり、話し合ったりする活動を位置付けるようにする。
- ⑦調査・聞き取り等の現場学習 (社会科見学等) は、感染症の影響の度合いに応じて柔軟に見直すなどし、学習で扱う社会的事象の写真や動画等、具体的に事象の様子を捉えられる資料を効果的に活用する等の対応も検討する。
- ⑦「ひろげる」については、読み物資料として扱ったり、適宜、学習の中で取り上げたりする。

○家庭学習との連携

- ①次時の授業に向けて、事前に、教科書を読んだり、資料を読み取ったりさせる。
- ②本時で学んだことについて、ノートやワークシートにまとめさせたり、確認問題をさせたりする。
- ③学習の振り返りをする。また、振り返りの内容を共有するためにノートのコピーを児童に配布する等の工夫をする。
- ④「ひろげる」については、読み物資料として扱ったり、発展学習等の資料としたりする。

○本資料の扱いについて

- ①各市町村では、副読本を作成し、地域の実態に応じた内容に沿って、地域学習を進めている。そのため、本資料は各地域・学校において時間数の精選を図る参考資料としていただきたい。